

月	《単元名・教材名》	時数	《単元目標》	観点別評価規準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4	いい てんき	2	互いの話に関心をもつことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもっている。	進んで友達の話に関心を持ち、これまでの経験をいかして話したり応答したりしようとしている。
	おはなし たのしいな	2	読書に親しみ、いろいろな本を知ることができる。	読書に親しみ、いろいろな本を知っている。	「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	これまでの経験をいかし、積極的にいろいろな本を手に取り、読み聞かせを楽しもうとしている。
	あつまって はなそう	1	話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。	積極的に友達の話を開き、学習課題に沿って友達と伝え合おうとしている。
	えんぴつと なかよし	1	姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。	姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書いている。		正しい姿勢や鉛筆の持ち方で書くことに粘り強く取り組み、自分なりに、字を書く際に気をつけたいことを見つけてようとしている。
	どうぞ よろしく なんて いおうかな	5	身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。	これまでの経験をいかし、積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、友達と交流しようとしている。
	こんなもの みつけたよ	2	身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。	紹介したい事柄を積極的に選び、見つけたものをより分かりやすく紹介しようとしている。
うたに あわせて あいうえお	2	姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。	・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		姿勢や口形、発声に進んで注意し、学習課題に沿って音読しようとしている。	
5	こえに だして よもう	1	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	進んで詩に描かれた様子を想像し、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
	ききたいな、ともだちの はなし	2	話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	興味をもって友達の話を開き、より伝わる話し方を考えながら、みんなに知らせようとしている。
	たのしいな、ことばあそび	2	音節と文字との関係に気づくことができる。	・音節と文字との関係に気づいている。 ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		語句の音節と文字の関係に積極的に興味を持ち、今までの学習をいかして言葉を集めようとしている。
	はなの みち	6	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	興味をもってお話の内容を捉え、友達と協力して音読をしようとしている。
	としょかんへ いこう	2	読書に親しみ、いろいろな本を知ることができる。	読書に親しみ、いろいろな本を知っている。		積極的に図書館について知ろうとし、学習課題に沿って読みたい本を見つけようとしている。
	かきと かぎ	2	◎平仮名を読み、書くことができる。	平仮名を読み、書いている。		進んで濁音を含む言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文字で表そうとしている。
	ぶんをつくらう	4	◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。	・句点の打ち方を理解して文の中で使っている。 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。	・「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。	語と語との続き方を丁寧に確かめながら、今までの学習をいかして文を書こうとしている。
	ねことねっこ	2	◎促音の表記、助詞の「は」の使い方、句読点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(促音の表記、助詞の「は」の使い方、句読点の打ち方を理解し、文の中で使っている。	「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。	進んで促音や半濁音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
6	わけを はなそう	2	◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。	これまでの学習や経験をいかし、話す事柄の順序を進んで考えながら、気持ちとわけを話そうとしている。
	おばさんと おばあさん	2	◎長音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。	長音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。	「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(進んで長音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
	くちばし	8	◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。	文の中における主語と述語との関係に気づいている。	・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出して	積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。
	おもちゃと おもちゃ	2	◎拗音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(拗音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。	「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。	進んで拗音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。

	あいうえおで あそぼう	3	◎平仮名を読み、書くことができる。◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。	・平仮名を読み、書いている。・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		これまでの学習をいかし、進んで平仮名の五十音を確かめ、言葉遊びを楽しもうとしている。
	おおきくなった	4	◎観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。	身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。	「書くこと」において、観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。	植物をさまざまな観点から積極的に観察し、これまでの学習をいかして観察したことを記録しようとしている。
7	おおきなかぶ	6	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして劇遊びをしようとしている。
	はをへをつかおう	3	◎助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	これまでの学習をいかし、進んで助詞の使い方を確かめながら文を作ろうとしている。
	すきなもの、なあに	7	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	これまでの学習をいかし、粘り強く伝えたいことや表し方を考え、自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。
	おむすびころりん	5	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。	・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 ・昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
	としょかんと なかよし	2	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。		積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしている。
	こんなことがあったよ	6	◎経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもっている。	積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記に書こうとしている。
	こえにだしてよもう	2	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	これまでの学習をいかしながら、進んで詩の内容を捉え、音読を楽しもうとしている。
8・9	ききたいな、ともだちのはなし	2	◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。	言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想を	これまでの学習をいかし、積極的に友達の話の聞き、質問や感想を述べようとしている。
	たのしいな、ことばあそび	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		これまでの学習をいかし、積極的に言葉遊びに取り組み、自分でも言葉遊びを作成しようとしている。
	やくそく	8	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。	・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	学習の見通しをもって、進んで登場人物の行動を確かめ、声に出してお話を楽しもうとしている。
	かたかなをみつけよう	2	◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使うことができる。	片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。	身の回りから片仮名で書く言葉を進んで見つけ、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとしている。
	うみの かくれんぼ	8	◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。	・文の中における主語と述語との関係に気づいている。・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	学習課題に沿って、文章の中で大事な言葉を押さえながら粘り強く読み、分かったことを伝えようとしている。
	かずと かんじ	4	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。	第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。	これまでの学習や経験をいかし、積極的に数え方に興味をもち、漢字を使って数え歌を書こうとしている。
	くじらぐも	8	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。	・かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	これまでの学習をいかして、積極的に想像力を広げて物語を読み、想像したことを友達に伝えようとしている。
10	しらせたいな、見せたいな	10	◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表している。 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。	学習の見通しをもち、知らせたいものを丁寧に観察し、見つけたことを文章にして伝えようとしている。
	まちがいをなおそう	2	◎文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正すことができる。	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、文章を、読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正している。	これまでの学習をいかし、進んで文章の文字を見直し、適切な表記に正そうとしている。
	ことばをたのしもう	2	◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		これまでの学習や経験をいかし、積極的に詩や早口言葉を楽しみ、発声や姿勢に気をつけながら声に出して読もうとしている。

	かん字のはなし	6	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書こうとしている。
	じどう車くらべ	7	◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	進んで文章を読み、説明における順序の重要性を知ることで、自分が説明するときにかいたいことを見つけようとしている。
	じどう車ずかんをつくらう	5	◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、自分でも自動車図鑑を作ろうとしている。
	かたかなを かこう	2	◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。	片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫している。	これまでの学習をいかし、片仮名の表記のしかたに気をつけながら、文の中で使おうとしている。
11	ともだちのこと、しらせよう	6	◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよさを見つけている。	紹介するという見通しをもち、進んで友達に質問し、友達について書こうとしている。
	むかしばなしを よもう おかゆのおなべ	8	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。	・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	これまでの学習をいかし、積極的に世界の昔話を読み、感想をカードに書いて伝えようとしている。
	ものの名まえ	6	◎身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。	・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。 ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	学習の見通しをもって、積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。
	わらしべちょうじゃ	1	◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。	昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	「読むこと」において、文章を読んで感じたことを共有している。	今までの学習をいかし、積極的に昔話の読み聞かせを楽しみ、内容や感想を共有しようとしている。
12	日づけとよう日	3	◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	積極的に日付や曜日を表す言葉に関心をもち、これまでの学習をいかして自分でも唱え歌を作ろうとしている。
	てがみでしらせよう	6	◎文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。	・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。	これまでの学習をいかし、書いた文章を積極的に見直ししながら、身近な人に手紙を書こうとしている。
	こえに出してよもう	2	◎場面の様子など、内容の大体を捉えることができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。	これまでの学習をいかし、進んで詩の内容を捉え、音読を楽しもうとしている。
	ききたいな、ともだちのはなし	2	◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	学習の見通しをもって、積極的に友達の話の聞き、質問や感想を述べようとしている。
1	たのしいな、ことばあそび	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。		これまでの学習をいかし、身近なことを表す語句に積極的に関心をもち、言葉遊びを楽しもうとしている。
	たぬきの糸車	8	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	これまでの学習をいかし、場面の様子に進んで着目し、好きな場面を音読しようとしている。

	かたかなのかたち	3	◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。	片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	形の似ている字を進んで探し、片仮名の言葉を使った文を書こうとしている。
	ことばを見つけよう	6	◎身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。	・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	これまでの学習をいかし、積極的に身近なことを表す語句を使った文を書き、語彙を豊かにしようとしている。
2	どうぶつの赤ちゃん	10	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。	・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	学習の見通しをもち、文章の内容を比べながら粘り強く読むことで、本から得たことを友達に知らせようとしている。
	これは、なんででしょう	4	◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	これまでの学習をいかし、粘り強く二人で話し合い、協力してクイズを作ろうとしている。
3	ずっと、ずっと大すきだよ	8	◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	学習の見通しをもち、友達の考えや感想を積極的に知ろうとし、読んで感じたことを伝え合おうとしている。
	にているかん字	3	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	これまでの学習をいかし、進んで漢字の形に注意し、楽しみながら文を書こうとしている。
	いいこといっぱい、一年生	10	◎自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考慮することができる。	言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	「書くこと」において、自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	これまでの学習や経験をいかし、事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。